

# 二中での学校生活について

第二中学校生徒指導部

## 生徒目標「誰もが安心して、充実した学校生活をめざす中学生」

本校では、上記に掲げた生徒目標を基盤とし、「自ら学び考える生徒」「思いやりを行動で示せる生徒」「心身健康で行動力と責任感のある生徒」をめざしています。

そのために必要な社会性やルール、マナー、礼儀などをしっかりと身につけ、社会の一員としての自覚を持って生活を送ることができるように、以下のような、一日の流れと生活の約束を示しています。

集団生活を意識し、仲間と楽しく充実した学校生活を過ごしていきましょう。

## 二中の一日の流れ

### ① 登校

一日のスタートである登校時間を守ることはとても大切です。8：10に校門を通過できるようにしないと、8：20開始の朝の会に間に合わず、遅刻になってしまうので、気をつけます。また、交通のルールを守り、余裕をもって登校しましょう。

- ・ 7：10より前に校舎内に入ることは禁止。
  - ・ 朝練習は7：20以降～8：00
  - ・ **8：20までに着替えて、ロッカーにカバンを入れて着席していなければ遅刻になります。**
- ※ 下矢切、栗山地区の生徒はバスによる通学を認めています。  
※ 自転車通学禁止

### ② 朝読書（8：20～8：30）

読書をして静かな雰囲気の中で、心を落ち着け学習に臨めるようにしましょう。

### ③ 朝の会（8：30～8：40）

議長が主体となって朝の会が始まります。

今日の目標を決めたり予定を聞いたり、1日の大切なスタートです。

- ・ 朝の会までに校内服に着替えましょう。  
(部活動の服装(Tシャツ、ストッキング等)は着替えておきます。)
- ・ カバンは制服を中に入れ、ロッカーの中にしまいましょう。

#### ④ 授 業（8：45～ 午前：4時間）

各教科の授業を行います(通常50分、特別時程45分授業)。休み時間(10分)の間に次の授業の準備をします。移動教室もこの時間に動きます。2分前着席、1分前学習を定着させましょう。

- ・始めと終わりのあいさつをしっかりと行いましょう。  
大きな声で「お願いします。」「ありがとうございました。」
- ・間違いを恐れずに積極的に発表します。また、自分の意見を持ったり、考えたり、わかろうと努力することが何よりも大切です。姿勢も崩さないように。
- ・聴く姿勢を意識しましょう。(目と耳と心で聴く。)

#### ⑤ 休み時間

- ・次の授業の準備をしてから、休憩します。
- ・係は黒板をきれいにしましょう。
- ・安全の面から、他クラスやベランダへの出入りはしないようにします。
- ・廊下は走らないようにしましょう。

#### ⑥ 昼食・休憩

あらかじめ予約してある給食か、お弁当を食べることになります。配膳で受け取る時には「ありがとうございます」や「いただきます」を配膳の方へ伝えましょう。ただし、新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症が流行っていたり、調子が悪かったりしたときは黙礼でも構いません。衛生面を考え、食堂への移動と配膳時は話さないようにします。「いただきます」は全員で行い、残さず食べましょう。昼休みはグラウンド(指定された日)で元気に遊ぶか、教室で静かに過ごしましょう。

#### ⑦ 予 鈴（13：20～）

このチャイムで、教室に入ります。5時間目には絶対遅れないようにしましょう。

- ・予鈴と同時にボール等の後始末をして教室に戻ります。

#### ⑧ 浅間タイム（13：25～13：35）

週ごとに指定された教科を学習します。各教科の評価にも入ります。10分間基礎学力の定着を図るために集中して取り組みましょう。

#### ⑨ 授 業（13：40～ 午後：1または2時間）

午前と同じでチャイムは席で聞きます。多く発表できるようになると眠気も吹っ飛びます！

⑩ 清 掃（15：35～15：45）

自分の分担をピッカピッカに！

- ・自分の清掃場所に責任を持って協力しながら行います。
- ・用具は大切に扱きましょう。
- ・清掃リーダーの指示で「始まり」と「終わり」のあいさつをし、反省を行います。

⑪ 帰りの会（15：50～16：05）

議長、または班長が中心となって、明日の連絡、一日の反省や歌声活動を行います。

- ・清掃が終わったら、教室へ戻り、帰りの会を始めます。
- ・気持ちを落ち着かせ、一日を振り返ります。明日に生かしましょう。
- ・歌声活動を盛り上げましょう。

⑫ 下校

学級活動、委員会活動、部活動で頑張りましょう。用事のない人は早く下校します。

- ・勉強道具は棚の中に置いて帰ってもよいですが、管理をしっかり行いましょう。
- ・委員会活動・部活動のある人は、荷物を活動場所まで持っていきます。
- ・係は、帰りの会后、下校を呼びかけ、窓の戸締まり、机の整頓をし、教室と廊下の最終点検が済んでから教室を出ます。
- ・完全下校時刻（下図）を守り、寄り道せずまっすぐ帰りましょう。

※ 完全下校時刻（令和5年度）

4月	5月	6・7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
17:45	18:15	18:30	18:00 (1日～15日) 17:45 (16日～30日)	17:30	17:15	17:00	17:15	17:30	17:45

- ・一般生徒下校時刻（部活動に所属していない生徒の完全下校時刻）は、帰りの会終了後20分後に設定しています。5分前から放送委員による下校放送が流れます。

## 二中の生活の約束

～安心して充実した学校生活を過ごすために～

### (1) 服装について

みんながルールを守り、二中生としての自覚を持った身だしなみをしましょう。

#### ① 制服について

○ 登校下校の際は、標準服または制服を着用します。

##### 【標準服】

冬服：ブレザー

白色のワイシャツ

スラックス（黒無地ベルト）またはスカート

校章を左襟につけます。

夏服：白色のワイシャツまたは白色のポロシャツ（下に体操服を着る）

※ワイシャツ・ポロシャツはズボンの中に入れます。

スラックス（黒無地ベルト）またはスカート

校章を台布につけ左胸につけます。

##### 【制服】

〈男子〉

冬服：黒色詰襟（カラーの必要な服にはカラーをつける）、校章入り金ボタン

ズボンは黒色の標準学生ズボン

黒無地ベルト

校章を左襟につけます。

夏服：白色のワイシャツ

ズボンは黒色の標準学生ズボン

黒無地ベルト

校章を台布につけ左胸につけます。

※ワイシャツはズボンの中に入れます。

〈女子〉

冬服：紺色セーラー服（袖口と襟に白線2本、後ろ襟下方両隅に校章）

紺色ひだスカート

共布のネクタイ

夏服：白色セーラー服、ネクタイは冬服のもの

紺色ひだスカート

冬夏を通じ、校章を台布につけ左胸につけます。

○ 冬の防寒着

【制服の外に着るもの】

コート、マフラー、手袋、ネックウォーマー、ウィンドブレーカー

【制服、校内服の下に着るもの】

セーター、トレーナー（Vネックか丸首のもの）、タイツ（黒）

※受験を意識し、華美ではないもの。

マフラー、手袋等は昇降口で外す。コートは教室で脱ぐ。

② 校内服

校内では二中指定ジャージ又は指定半袖体操服、ハーフパンツを着用。

・左胸には刺繍で姓をつけます。ない場合は販売店で直してもらってください。

③ 靴

外履き：体育の授業ができる運動靴。黒の通学靴も可

上履き：学校指定の運動靴。

④ 靴下

式典のときは白色のスクールソックス、または黒のタイツ（スカートの場合）

(2) 頭髪について

- ・パーマ、染色、ラインなど特別に手を加えない。
- ・後ろ髪が肩にかかる長さ以上のは、たばねるかあむ。  
(ゴムは黒、紺、茶系のもの)

(3) 持ち物について

① バッグ

3WAYの二中指定バッグ（目印のためにキーホルダーを一つだけつけて良い。）

・荷物は全て二中バッグに入れることが基本。入りきらない場合は他のバッグを追加しても良い。

・キーホルダーは、手のひらで隠れる大きさのもの。

② その他持ち物について

・必要以上のお金や学習に関係のないものは持ってきません。

（どうしても必要でお金を持ってきた場合は、朝の会で担任の先生に預ける。）

・飲み物（水、お茶類、スポーツドリンク）は持ってきてよいです。

（ペットボトルも水筒として認めています。）

ペットボトルの取り扱いについて

- ① ペットボトルは誰のものか分かるようにペットボトルホルダー等に入れて持ってきてましょう。
- ② 持ってきたペットボトルは必ず持ち帰りましょう。
- ③ 登下校途中に購入しないようにしましょう。  
※持ち物には学年、学級、氏名をはっきり書いておきましょう。

#### (4) 通学について

##### ① 始業 10 分前登校

本校では、静かな、落ち着いた学習環境を形成するために、早めの登校を奨励しています。これは学級活動(朝読書)よりも10分程度早く登校し、始業の合図までに校内服に着替え、ロッカーにカバンを入れて着席し、学習に取り組み始めるためのものです。これに遅れないよう、各家庭でも御協力をお願いします。

##### ② バス通学

特例として、下矢切・栗山地区の生徒は、バスによる通学を認めています。その他、やむを得ない事情で徒歩通学できないときは担任にその事情をよく話してください。申し出により、学校長からの許可を得た後にバス通学を認めます。

なお、自転車での通学は認めていません。

※ 以上の内容は、生徒会総務・生徒指導部・生徒会担当で構成される「生活の約束検討委員会」を中心に話し合い、生徒総会での議決を経て、必要に応じて変更・追加等を行う場合があります。
--